

子ども・子育て支援事業計画 主な事業一覧表

新事業 計画No	事業名	具体的施策の展開内容	所 管	平成25年度実績 (実施回数、利用人数等)	平成26年度 予算額(千円)
1	要保護児童対策地域協議会	保健、福祉、医療をはじめ教育、警察等児童の関係機関が児童虐待の予防、早期発見から妊婦も含めた児童とその家族への援助にいたるまで、有機的な連携に基づいた援助方策、援助システムを検討し虐待の防止等を推進します。また、定期的な児童の状況確認、必要に応じたケース会議等を行い、関係機関の連携を図ります。	こども未来室	代表者会議 1回 実務者会議 12回 ケース会議 24回	44
2	虐待防止対策の周知	児童虐待防止のために、子ども自身はもとより市民全体に向けて広報・啓発活動など様々な取り組みを行います。	こども未来室	街頭キャンペーン実施(2か所) イベントにて啓発パネル展示(2か所) 市内学校園在籍児童にチラシ配布 市役所1階モニター啓発広告掲載 公用車に啓発マグネット貼付 公共施設に啓発ステッカー貼付	予算なし
3	児童虐待防止に関する研修の実施	関係者及び、関係機関に対し研修の充実を図っていきます。	教育指導室 こども未来室	(教育指導室) 校内研修や夏季教員セミナーの実施 (子育て支援課) 実務者研修2回 ガイドライン説明会1回	予算なし
4	乳児家庭全戸訪問事業 (こんにちは赤ちゃん事業)	児童福祉法に基づき、生後4ヶ月までの乳児のいる全家庭を訪問し、乳児の体重測定や育児の相談に応じ、母親の育児不安を解消し、虐待予防に努めます。訪問の際には予防接種手帳を配布します。	健康づくり推進課	家庭訪問数 680件 実施率 94.8%(入院中・里帰り中等を対象から除外せず)	3,099
5	保育士による訪問事業	市立保育所の保育士が、妊婦のいる家庭を定期的に訪問し、心配事の相談や情報の提供を実施しています。希望の保育園を登録して訪問してもらうことも可能です。また、訪問を通じて「子育てで孤立しない・させない」を目的にさまざまな機関との連携に努めています。さらに、出生後も3歳未満の未就園児がいる家庭を訪問し、育児の悩み事の相談を受けたり、子育てを応援する事業や施設を紹介したりしています。	こども未来室	妊婦訪問 265件(対象世帯) 乳児訪問 2,171件(対象世帯)	単独予算なし
6	養育支援訪問事業 (育児支援家庭訪問事業)	養育支援が特に必要であると判断した家庭に対して家庭訪問支援員の訪問により支援を行います。	こども未来室	訪問・派遣・会議回数 6組58回 研修 3回 報告会 1回	282
7	子どもへの暴力防止プログラム ～CAP(巡回公民館講座)	幼稚園児(5歳児)および保護者を対象に、子ども自らが虐待・誘拐・いじめ等から身を守る意識を育てるため、引き続き学習の実施にむけ充実を図っていきます。	中央公民館	11ワーク 223人	360
8	親支援事業	虐待を起こした親の回復のため、プログラムを実施することにより、子どもへの関わり方を変えていくことができるように支援し、家族の再統合を図っていきます。また、子育てに不安を抱えながらも孤立している家庭や子育てに無関心な家庭を対象に、グループミーティング形式のグループワーク等の講座を実施し、親の自己肯定感及び自尊心を高め、育児ストレスの解消及び児童虐待の防止を図っていきます。	こども未来室	(親の回復支援プログラム) 修了者 8人 (子育て応援講座) 子育て応援講座 参加者 21人 ファシリテーター養成 修了者 8人	2,932

新事業 計画No	事業名	具体的施策の展開内容	所 管	平成25年度実績 (実施回数、利用人数等)	平成26年度 予算額(千円)
9	児童家庭相談	家庭における18歳未満の児童の養育相談や児童自身の相談に応じるなど、児童家庭相談体制の充実を図ります。	こども未来室	511件	78
10	すこやか教育電話相談	いじめ・不登校・進学・児童虐待など子育てや教育に関する相談を専門の相談員と一緒に考え、悩みに答えていきます。	教育指導室	すこやか教育電話相談1回線 適応指導教室電話1回線 幼児教育センター教育相談2回線	112
11	民生委員・児童委員の活動促進	日々の活動の中で、地域住民を対象に心配事・悩み事の相談にのり、様々な理由により社会的な支援が必要と考えられる人に対してつなぎ役となり適切に各関係機関へつなげます。	地域福祉課	相談件数 高齢者 1,083件 障がい 75件 こども 676件 訪問連絡件数 12,718件	予算なし
12	相談窓口の周知	子どもの成長発達、子育て等の相談、子ども自身の相談窓口の案内を行っていきます。各機関で行われている相談窓口の連携も図っていきます。	こども未来室	広報、ウェブサイト、こどもインフォメーション、子育てガイド等で随時周知	予算なし
13	居宅介護	自宅で、入浴、排せつ、食事の介護等の支援を行います。	障がい福祉課	支給決定者数 220人(内：児童 7人)	108,444
14	難病患者等に日常生活用具の給付	難病患者等が日常生活を円滑に行うため、日常生活用具の給付を行います。	障がい福祉課	0件	100
15	市郵送用封筒点字打刻事業	視覚障がい者(児)への情報提供の促進を図るため、市役所から発信する封書に市の名前を点字表示していきます。	障がい福祉課	402,735枚×1円=402,735円	500
16	ライフサポート推進事業	障がい児(者)とその家族の就労及び生活を支援することを目的に、障がい児(者)の通学・通所の支援(送迎サービス)、一時預かり支援、宿泊支援事業を行います。	障がい福祉課	延べ利用人数 108人(内：児童 0人)	3,686
17	在宅重度障害者(児)短期入所サービス	重度の身体障がい児又は知的障がい児等を介護されている保護者が病气や出産などの社会的理由により、家庭における介護ができず、入所日までに介護給付の支給決定を受けることが困難な時に、一時的に施設を利用できるサービスを行っていきます。	障がい福祉課	0人	予算なし
18	重度心身障がい者等医療費助成	身体障がい者手帳1級または2級に該当する方、療育手帳Aまたは判定機関において同程度と判定された方、身体障がい者手帳を所持し、かつ療育手帳B1または判定機関において同程度と判定された方が、健康保険証を使って、病院等で受診したときの自己負担分(一部自己負担金があります)を公費で助成することにより、その健康の保持及び生活の安定に寄与し、対象者の福祉の増進を図っていきます。	福祉医療課	25,837件 14,417人	182,281

新事業 計画No	事業名	具体的施策の展開内容	所 管	平成25年度実績 (実施回数、利用人数等)	平成26年度 予算額(千円)
19	交通等バリアフリー基本構想 推進事業	「高齢者、障害者等の移動等の円滑化の促進に関する法律」に基づく、 市の基本構想に基づきバリアフリー化を推進します。	まちづくり推進課	同基本構想を推進するため、定期的に推進協議会を開催するなど し、バリアフリー施策の継続改善に努めました。 ・推進協議会の開催(実施回数1回、出席人数17人)	99
20	乳幼児二次健診 (約束健診) (発達相談) (視聴覚検診)	乳幼児健診や電話相談、訪問活動等において経過観察を必要とする乳 幼児に医師、心理相談員による診察・相談を実施します。なお保健 師、栄養士による相談も併設しています。また、3歳6か月児健診に おいて必要とする幼児に医療機関委託による視聴覚検診の実施と受診 率の向上を図っていきます。	健康づくり推進課	経過観察健診 月2回 受診率80.7%(360人) 視聴覚健診(対象者数96人) 受診率61.5%(59人)	1,269
21	乳幼児訪問指導	乳幼児健診や電話相談等において、乳幼児の経過観察及び保護者の不 安解消を目的とした訪問指導の実施の充実を図っていきます。	健康づくり推進課	乳幼児訪問指導 延べ人数 1138人	予算なし
22	のびのび広場	1歳7か月児健診において、発達・育児支援面での経過観察が必要な児 と保護者に対し、2歳到達月まで月1回参加してもらう子育て相談の事 業であり、必要な児にはチューリップ教室に繋いでいます。	健康づくり推進課	対象者381人 参加数208人(54.6%)	112
23	通園施設運営補助	社会福祉法人聖徳園が運営する福祉型児童発達支援施設に対し、補助 金を交付し、その保育内容の充実と運営の健全化を図っていきます。	こども未来室	26人	18,057
24	障がい児保育事業	特に配慮を要する児童を保育所で、健常児とともに集団保育すること により、当該児童の健全育成の充実を図っています。そのためにも、 受入について、施設機能や職員配置など児童にとってより安全で安心な 体制を構築していきます。	こども未来室	公立保育所 6園 私立保育所 5園 27人	26,709
25	学童クラブでの障がいのある 児童の受け入れ体制の充実	障がいのある児童については、指導員の加配を行う等できる限り受け 入れ体制を充実していきます。	こども未来室	障がい児加配補助員 16人 学童クラブ利用障がい児 39人 (H25.4.1)	16,457
26	つながるファイル	子どもの成長の様子や、これまでに受けた支援・教育を記録し、保育 園・幼稚園から成人するまでの間活用できるファイルです。今後も ファイルの普及に努め、有効に活用できるようにしていきます。	こども未来室 教育指導室 障がい福祉課 健康づくり推進課	作成にあたっての担当者会議12回	40
27	相談支援事業	障がい児の家族等からの相談に応じ、必要な情報の提供及び助言等の 支援を行います。	障がい福祉課	延べ利用人数 5,294人 (内:児童 316人)	30,240

新事業 計画No	事業名	具体的施策の展開内容	所 管	平成25年度実績 (実施回数、利用人数等)	平成26年度 予算額(千円)
28	子どもの発達相談	育児に自信が無い、相談する相手がいないなどにより育児ノイローゼや虐待の危険性も懸念されることから、養育上発達面に課題のある児童の保護者等に対する適切なアドバイスを行うため、発達相談体制の充実を図ります。	こども未来室	月2日 25件	49
29	幼児の健全発達支援 チューリップ教室	保健センターが行う1歳7か月児健診等において、集団の場においてフォローが必要と思われる子どもと保護者を対象に、年齢に応じた教室を開催します。遊びを通じて、親子のふれあいを大切に、子どもと保護者が楽しく過ごせるように援助したり、さまざまな相談に適切な指導・各種相談に応じることにより、幼児の健全な育成・発達を助長し、保護者の育児不安等の解消を図っています。	こども未来室	5教室(171回) 1,609人	12,529
30	つどいの広場事業	主に0～3歳までの子どもとその保護者が気軽につどい、交流や育児相談ができる場を開設します。くつろげる場所の提供のほか、各種講座の開催、子育て情報の提供なども行っていきます。	こども未来室	6か所(他 出張1か所あり) 16,524人(利用児童)	33,978
31	地域子育て支援センター事業	少子化や核家族化により、子育てに悩みを持つ保護者のために、親子ともどもの仲間づくりや子育て相談の場を提供するとともに、子育てサークル及び子育てボランティアの育成・支援や地域の保育・子育て資源の情報提供、地域支援活動を行っていきます。	こども未来室	実施箇所数 2ヶ所 梅の里保育園 2,525人 富貴の里保育園 3,357人 計 5,882人	16,004
32	幼稚園における相談体制	教員による子育て相談等の充実を図ります。	市立幼稚園 私立幼稚園	教員による子育て相談を随時実施	予算なし
33	幼児教育センター	2・3歳児とその保護者を対象とした子育て支援のための事業で、3歳児広場の実施、親子活動の場の提供や、毎月2回の専門家による子育て相談等を実施します。(相談及び指導・3歳児広場・施設の一般開放・子育て情報の収集・子育て講座や研修会の開催・子育てボランティア講座の開催・子育てサークルの支援・各機関との連携の推進)	教育指導室	3歳児広場、親子活動、専門家による子育て相談等を実施。また、施設の一般開放等も実施。年間延べ5,200人程度の利用あり。	300
34	利用者支援事業	子どもやその保護者、または妊産婦が教育・保育施設や地域の子育て支援事業等を円滑に利用していただけるよう相談に応じ、必要とされる情報の提供や助言等をしたり関係機関との連絡調整等を行います。	こども未来室	利用者支援事業として単独の制度になったのが、平成26年度からであり、実績はありません。	予算なし
35	富田林市コミュニティ・ソーシャル・ワーカー配置事業	地域に潜む生活の課題を地域の皆さんと共に見つけ出し、生活・福祉に関する困りごとの解決方法を一緒に考え、共に行動する「コミュニティソーシャルワーカー」を配置しています。地域における子育てに関する相談をはじめとして、あらゆる人の、あらゆる相談に支援を行っていきます。	地域福祉課	相談件数 高齢者 780件(延べ) 障がい 489件(延べ) 子ども 102件(延べ) その他 620件(延べ)	20,412
36	ひとり親家庭相談 (ひとり親家庭の自立支援)	ひとり親家庭の自立のための相談、情報提供を行い、就労により自立できるように様々な角度から総合的な支援を実施していきます。	こども未来室	相談件数 269件	2,691
37	母子・父子家庭自立支援教育 訓練給付金	母子家庭の母又は父子家庭の父が職業能力の開発のための講座(国が教育訓練給付の対象と認める講座に限る)を受講する場合、受講料の補助を行い、就業を支援します。	こども未来室	平均金額 14,346円×6人	100

新事業 計画No	事業名	具体的施策の展開内容	所 管	平成25年度実績 (実施回数、利用人数等)	平成26年度 予算額(千円)
38	母子・父子家庭高等職業訓練 促進給付金の支給	母子家庭の母又は父子家庭の父が看護師、介護福祉士、保育士、理学療法士、作業療法士の資格を取得するために養成機関で受講する場合、その期間中の生活の不安を解消し、安定した修業環境を提供するため、母子・父子家庭高等職業訓練促進給付金を支給します。	こども未来室	促進費 11人 一時金 5人	14,999
39	母子生活支援施設への入所	保護者が配偶者のいない女子又はこれに準ずる事情にある女子であって、その者の監護すべき児童の福祉に欠ける場合、その保護者及び児童を母子生活支援施設に入所させ保護するとともに、安定した生活を支援します。	こども未来室	1世帯×7月	5,130
40	ひとり親家庭医療費助成	18歳に到達した年度末日までの子どもとひとり親又は養育者が、健康保険証を使って、病院等で受診したときの自己負担分(一部自己負担金があります)を公費で助成することにより、ひとり親家庭の生活の安定と児童の健全な育成を図っていきます。	福祉医療課	32,267件 36,036人	90,429
41	児童扶養手当の給付	父母の婚姻の解消などにより父または母と生計を同じくしていないか、または父(母)が身体等に重度の障害のある児童の母や母に代わってその児童(18歳に達する日以後の最初の3月31日までの間にある者)を養育している人に対し児童扶養手当を支給し子育てを支援します。(所得制限あり)	こども未来室	支給人数 1,471人	701,193
42	母子・父子・寡婦福祉資金の 貸付	母子・父子・寡婦福祉資金の貸付相談及び受付を行い、生活の安定を支援します。	こども未来室	3件	予算なし
43	ワーク・ライフ・バランスの 啓発事業	働き方を変えて、仕事と生活の調和をめざすワーク・ライフ・バランスの啓発を行っていきます。	商工観光課 こども未来室	継続して啓発を行っている	予算なし
44	能力開発支援事業	能力開発に伴う講座等を開催します。	商工観光課	26年2/10～2/26 全8回 4人参加 簿記・ビジネスマナー・メイク講座を開講	300
45	就労相談・就労支援制度の普 及啓発	就労支援センターを設置し、就労阻害要因のある方の就労相談等を行なっていきます。	商工観光課	25年4月～26年3月 土・日・祝日を除く9時～17時まで 相談等利用人数 327人	2,294
46	就労支援事業	「就職困難者等」の雇用・就労を創出するため、企業・事業所をはじめ関係機関との積極的な支援・協力体制を確保していきます。	商工観光課	25年4月～26年3月 企業関係機関等との積極的な支援・協力体制を確保	予算なし
47	求人情報の提供	全市民を対象に求人情報を提供します(外国人を含む)。また、インターネットにより、市民が直接最新の求人情報を入手できる場を、庁舎内に設置しています。	商工観光課	25年9月19日「求人・求職情報フェア」をすばるホールで開催 109人参加 インターネットは25年4月～26年3月 土・日・祝日を除く9時～17時30分まで利用可能 25年度年間利用件数 132人	76

新事業 計画No	事業名	具体的施策の展開内容	所 管	平成25年度実績 (実施回数、利用人数等)	平成26年度 予算額(千円)
48	労働相談	労働に伴う各種相談を行っていきます(外国人を含む)。	商工観光課	25年4月～26年3月(12回) 労働相談を実施 8件	272
49	男女共同参画推進事業 (男女共同参画フォーラム) (男女共同参画啓発リーフレット“びびっと”) (男女共同参画リーダー養成講座) (男女共同参画活動助成金の支給) (男女共同参画センターウィズ管理運営事業)	富田林市男女共同参画計画ウィズプランに基づくフォーラムや講座等を通じて、性別に基づく固定的な役割分業意識にとらわれず、子育ての大切さや楽しさを理解できるように啓発活動を行います。	人権政策課	○男女共同参画フォーラムBe-inひろっぱ 26/1/25実施(年1回)参加人数延べ約150人 ○男女共同参画啓発リーフレット“びびっと” 3000部 作成・配布 ○男女共同参画リーダー養成講座 (男女共同参画関連講座) 25/9～26/3 5回実施 参加人数延べ46人 ○男女共同参画活動助成金の支給 グループ活動費 0件 研修会参加費 2件(1人) ○男女共同参画センターウィズ管理運営事業 ウィズネット研修会 25/10/26(年1回) 参加人数41人	○男女共同参画フォーラムBe-inひろっぱ 331 ○男女共同参画啓発リーフレット“びびっと” 74 ○男女共同参画リーダー養成講座 95 ○男女共同参画活動助成金の支給 50 ○男女共同参画センターウィズ管理運営事業 8
50	女性相談事業	女性の抱えるさまざまな悩みについてフェミニストカウンセラーや女性電話相談員による相談(子育ても含む)を実施していきます。	人権政策課	女性相談 108回実施 利用者94人 電話相談 49回実施 利用者50人	女性相談:660 電話相談:321
51	プレママ・パパ教室	妊婦とその家族を対象に妊娠・出産・育児に関する知識の啓発及び妊婦同士の仲間づくり、父親の育児参加の動機づけを目的に実施します。	健康づくり推進課	3日間 4コース 1日間3コース 延べ参加人数、母親174人、父親67人	201
52	家庭教育学級(託児付き)の実施	現実的課題に即した、子育てに関する様々なテーマを取り上げた学習の実施を目指すとともに、父親が参加できる内容も取り入れていきます。	中央公民館	0回	160
53	子どもの人権を尊重する啓発・相談活動	啓発冊子の配布や人権ポスターへの取り組みを通じて、「子どもの権利条約」をはじめ、子どもの権利保障について啓発活動を充実させ、さらに子ども自身が権利の主体として自覚・自立していけるよう人権教育・啓発活動に取り組んでいきます。 また、人権擁護委員の協力を得ながら人権相談の強化を行っていきます。	人権政策課	人権啓発冊子作成・配布 2,000部 人権ポスター出展者数 225人 定例人権なんでも相談10回、特設人権なんでも相談 3回 相談数 16件(課対応相談含む)	啓発冊子:500 人権展:487 人権相談:120
54	DVに対する研修の実施	DVに対する適正な対応を図るため、各学校の教員に対し研修の充実を図っていきます。	教育指導室	校内研修や夏季教員セミナーの実施	予算なし

新事業 計画No	事業名	具体的施策の展開内容	所 管	平成25年度実績 (実施回数、利用人数等)	平成26年度 予算額(千円)
55	総合相談事業 (人権相談・生活相談)	人権相談及び生活相談において、子どもに関わる相談について、関係機関と連携を図り、より適切な対応ができるよう支援していきます。また、ケースによっては、相談者に同行しながら関係専門機関に繋げていきます。	人権文化センター	月～金 午前9時～午後5時 (祝日・年末年始除く) 人権相談 11回・生活相談 334回	6,165
56	不登校児童生徒対策の推進	学校外適応指導教室「すこやかスクールYOUYOU」、学校内スクールカウンセラー配置事業など、学校復帰をめざした取り組みの整備充実を図っていきます。	教育指導室	適応指導教室指導員 1人 教育相談員 1人 教育カウンセラー 2人 子ども登校支援相談員 4人	12,465
57	ひきこもり等相談窓口事業	ひきこもり等の困難を抱える青少年やその家族に対し、相談窓口において助言を行っていきます。	社会教育課	実施件数24件、相談件数5件	180
58	母子健康手帳交付	母子保健法に基づき、妊娠の届け出をした者に対して母子健康手帳を交付します。交付時に父子手帳、マタニティキーホルダー、妊婦健康診査受診券も配付していきます。	健康づくり推進課	758人	139
59	妊婦一般健康診査	合併疾患のチェック、流産未熟児出生及びB型肝炎ウイルスの母子感染の予防を目的とした健康診査の実施と受診率の向上を図っていきます。公費助成を14回にすることで妊婦健診の未受診防止に努めます。	健康づくり推進課	受診実人数 760人 受診延べ人数 9,192人	84,348
60	特定不妊治療費助成	平成23年度8月から開始した市独自の特定不妊治療費助成制度です。	健康づくり推進課	助成実人数(組) 35組 助成延べ件数 50件	8,800
61	助産の扶助	妊産婦が経済的理由により、入院助産が困難な場合に、助産施設での出産を支援します。あわせて、養育支援が特に必要である妊婦に対して、関係機関と連携して支援していきます。	こども未来室	34人	17,538
62	出産育児一時金の支給	子どもを出産するとき国民健康保険では、ご家族の方が出産費用を気にせず安心して出産していただくために、出産育児一時金の支給をします。	保険年金課	143件 60,060,000円	63,000
63	新生児訪問	母子保健法に基づき、新生児・産婦に対して不安の解消、健康状態の確認等を目的とした訪問指導を実施しています。	健康づくり推進課	新生児訪問指導 延べ人数53人 妊産婦訪問指導 延べ人数945人 (うちハイリスク妊婦訪問14人)	637
64	乳幼児健診 (乳児一般健康診査) (4か月児健診) (乳児後期健康診査) (1歳7か月児健診) (3歳6か月児健診)	乳幼児の疾病予防や早期発見・早期治療及び保護者に乳幼児の健全な育成及び子育て支援を目的として、発育、発達、栄養、育児及び歯科保健に関する相談、保健指導を実施している健康診査の受診率の向上を図っていきます。また、乳児後期健診においては、かかりつけ医を持つことを目的に医療機関で実施します。	健康づくり推進課	4か月児健診 96.8%(702人) 1歳7か月児健診 96.3%(833人) 3歳6か月児健診 88%(778人) 乳児一般 96.8%(693人) 乳児後期 99.1%(696人)	19,924
65	歯科疾患の予防 (2歳6か月児歯科健診) (1歳8か月児歯科フォロー教室) (2歳7か月児歯科フォロー教室)	生涯を通じた健康づくりの基礎を築くものとして、う蝕等の歯科疾患の予防を目的に、幼児及びその保護者に対して、口腔内診査、予防処置(フッ素塗布)、保健指導、カリオスタット等の実施と受診率の向上を図っていきます。	健康づくり推進課	2歳6か月児歯科健診 受診率 92.3%(777人) フォロー教室 受診率 19.8%(157人)	3,444

新事業 計画No	事業名	具体的施策の展開内容	所 管	平成25年度実績 (実施回数、利用人数等)	平成26年度 予算額(千円)
66	予防接種の実施	乳幼児、児童及び生徒への予防接種の実施と接種率の向上を図っていきます。 BCG DP T (ジフテリア・百日咳・破傷風混合) MR (麻しん風しん混合) 第2期DT (ジフテリア・破傷風混合) 日本脳炎 ポリオ	健康づくり推進課	MR第1期 102% (854人) 第2期 97% (870人) 第3期 97% (1288人) 第4期 87% (1250人) DPT 87% (2856人) BCG 97% (799人)	261,357
67	子育て相談会	保健師・栄養士・助産師・心理相談員などの専門職が実施している個別相談会を行うことで育児の悩みや不安などの解消を図っていきます。	健康づくり推進課	月1回 延べ234人	361
68	子ども医療費助成	出生の日から中学3年生までの入院・通院について、保険診療で医療機関に支払う自己負担分(一部自己負担金があります)を助成していきます。(中学生の通院は、平成26年10月1日から)	福祉医療課	132,378件 162,479人	297,530
69	かかりつけ医制度	かかりつけ医(小児科)の普及促進を図っていきます。	健康づくり推進課	乳幼児健診などで啓発	予算なし
70	未熟児訪問指導	平成25年度より実施主体が府から市に移管されました。母子保健法に基づき、出生体重が2500g未満の児と産婦に対して不安の解消、健康状態の確認等を目的にした訪問指導を実施しています。	健康づくり推進課	訪問延件数 73件	165
71	育児教室 (びよびよクラス) (すくすくクラス)	母子保健法に基づき離乳食の進め方、その他交流会や育児・歯科保健に関する保健指導を実施。母子の健全育成、正しい知識の啓発を行っていきます。	健康づくり推進課	離乳食講習会 6回 延べ参加人数 127組 127人 育児教室 6コース 延べ参加人数 139組 251人	456
72	食育啓発事業	食に関する教育等を継続して実施し、食育啓発事業を行っていきます。 4か月児健診時集団教育 1歳7か月児健診時集団教育 3歳6か月児健診時集団教育 びよびよクラス すくすくクラス 出前講座	健康づくり推進課	実施回数 67回 4か月児健診 18回 1歳7か月児健診 18回 3歳6か月児健診 18回 離乳食講習会 6回 育児教室 6回 出前教室 1回	予算なし
73	小中学校給食実施運営	市立小中学校において学校給食を実施し、これを生きた教材として食に関する指導を推進します。使用食品は国内産を原則として安全な食事を提供し、また安心して食べてもらうよう情報発信にも努めます。	学校給食課	小学校給食の実施日 186日 小学校給食のべ食数 1,142,034食 中学校給食の実施日 166日 中学校給食利用のべ食数 175,013食	小学校給食：662,209 中学校給食：210,846
74	小児救急医療事業	南河内南部広域小児急病診療体制(毎日、午後8時～翌朝8時まで)の拡充を医療機関、医師会等関係機関の協力を得ながら図っていきます。	健康づくり推進課	富田林消防 救急搬送 108人 病院紹介 2,100人	82,717
75	休日急病診療	富田林病院で、日曜日・祝日・年末年始(受付時間9:00～12:00、13:00～15:30)の小児科診療を行っています。	健康づくり推進課	富田林市民の受診者数 1,461人	小児救急医療事業の一部

新事業 計画No	事業名	具体的施策の展開内容	所 管	平成25年度実績 (実施回数、利用人数等)	平成26年度 予算額 (千円)
76	事故予防教育	乳幼児死亡の大きな原因となる不慮の事故を予防するために4か月児健診、育児教室において事故予防教育を実施します。出前講座等においても実施をするとともに回数の増を図っていきます。 4か月児健診時集団教育 1歳7か月児健診時集団教育 3歳6か月児健診時集団教育 びよびよクラス すくすくクラス 出前講座	健康づくり推進課	29回	予算なし
77	応急手当の普及啓発事業	児童を含む市民が突然の事故に遭った時、周りにいる人たちが適切な応急手当を行えるよう、応急手当の普及啓発事業を実施します。また、講師として救急救命士等が講習を行い内容の充実を図ります。	警備救急課	普通救命講習 55回 811人 その他の講習 45回 925人	200
78	ブックスタート事業	保護者の方に絵本を通じて、乳幼児との“ふれあいの必要性”についての働きかけや、図書館の利用案内を行うものとして、保健センター（健康づくり推進課）で開催される『4か月児健診』にあわせて実施し、啓発に努めていきます。 また、健診に参加された乳幼児に絵本を配布したり、健診の待ち時間に図書館ボランティアによる絵本の読み聞かせを行っていきます。さらに、健康づくり推進課の保健師と連携し、フォローアップ事業を推進していきます。	図書館	(ブックスタート事業) 実施回数 18回 配布人数 700人 (フォローアップ事業) あかちゃんのおはなし会 実施回数 48回 延参加人数 479人 (239組) おやこでたのしむわらべうた 実施回数 3回 延参加人数 32人	(ブックスタート事業) 628 (フォローアップ事業) 48
79	おはなし会等児童向け行事	図書館に来る子どもだけでなく、図書館にあまり足を運ばない子どもにも図書館に親しみをもってもらい、利用を促進し、子どもの読書活動を活発にし、本や図書館利用に親しんでいない子どもにはその動機づけをする取り組みを進めていきます。また子どもたちが図書館にあるたくさんの中から、よき本と出合えるよう、テーマに沿った本の展示・リスト作成を定期的に行っていきます。	図書館	#####	14

新事業 計画No	事業名	具体的施策の展開内容	所 管	平成25年度実績 (実施回数、利用人数等)	平成26年度 予算額 (千円)
80	幼稚園・保育所・学校等との 連携事業	1. 団体貸出 子どもたちが一日の大半を過ごす場である幼稚園・保育園・学校等へ本の団体貸出を行い、読書環境の充実に取り組んでいきます。 2. 小学1年生オリエンテーション 市内全小学校へ出向き、1年生に図書館の使い方の説明や本の紹介をしていきます。 3. 学校図書館支援 市内全小学校(16校)と中学校(8校)の学校図書館に、月1回調べ学習等で希望の本を集めて配送する学校図書館ブック便を走らせます。	図書館	1. 団体貸出 17,429冊 2. 小学1年生オリエンテーション 16校 868人 3. 学校図書館支援 24校 合計6,513冊	予算なし
81	自動車文庫事業	図書館から離れた地域の方々にも利用していただくため、市内広域サービスに努めています。夏休み等長期休みの小・中学生の利用や幼児を連れた親子、高齢者の利用を促進します。	図書館	15ステーション 巡回数345回 一般・児童合わせて3,234人 11,797冊	予算なし
82	特別支援教育	特別支援教育コーディネーターを中心として、校内の体制作りとともに、医療や福祉等の関係機関と連携しながら、特別な教育的ニーズのある子どもたちに対して、適切な指導や支援を行っていきます。	小学校 中学校 市立幼稚園	支援教育研修(年5回実施)206名 支援教育コーディネーター連絡会(年3回実施)参加者数165名 新任支援教育担当者連絡会(年2回実施)参加者数45名 介助員研修会(年2回実施)参加者数121名 巡回相談員フォローアップ研修(年1回実施)参加者数13名	予算なし
83	生徒指導の充実	幼児・児童・生徒の健全な育成を図るため、また様々な問題行動・課題に対する予防や適切な指導を目標に研修等を進めていきます。	教育指導室 各学校園	・教員対象に生徒指導やカウンセリングの研修を実施。 ・中学校区で幼小中の連携をすすめ情報交換に努める。 ・校園内で生徒指導体制を充実し、子どもたちの健全な育成をすすめる。中学校間の情報交換の場を1回以上/月設ける。	予算なし
84	キャリア教育	職場見学やキッズマート・インターンシップ等、仕事の体験教育実施の充実を図ります。	小学校 中学校	職場見学やキッズマート等の就業体験や職業に関する教育を各校で2回/年以上実施	予算なし
85	児童の図書館体験講座	春休みと夏休みに、小学5・6年生(若干名)に図書館の仕事を体験してもらい取り組みをします。 ・やってみよう!図書館の仕事	図書館	実施回数4回 22人	予算なし
86	放課後子ども教室推進事業	地域社会全体で、未来を担う子どもの豊かな成長を育む事を目的に、各小学校での、放課後や週末等に子どもの体験・交流活動を地域ボランティアの協力を得て開催しています。	社会教育課	16小学校 341回、 参加児童数 12,815人 参加ボランティア数 2,251人	4,059
87	多文化理解・英語教育の充実	急激に発展する情報化・国際化社会に対応するため、ALTを学校園に派遣し、異文化交流を含め幼稚園での英語遊び、小学校での国際理解教育、中学校での英語教育支援をすすめていきます。	教育指導室	ALTを11人配置し、市内全学校園において国際理解教育・英語教育を充実	23,450

新事業 計画No	事業名	具体的施策の展開内容	所 管	平成25年度実績 (実施回数、利用人数等)	平成26年度 予算額 (千円)
88	姉妹都市・友好都市交流推進事業	姉妹都市米国ベスレヘム市との交流事業を実施していきます。毎年11月に開催している英語弁論大会では、平成17年度より小学生の部を設けており、市民の英語能力向上を目指します。	市民協働課	交換学生受入3人 広報誌作成 英語弁論大会 104人 (小学生55名・中学生36名・ 高校生11名・一般2)	700
89	子ども対象講座の実施	春・夏・冬休みを中心に子どもや親子対象の手作り教室や体験教室の実施を目指します。	中央公民館 東公民館 金剛公民館	(中) 11講座240人 (金) 講座数=9講座 実施回数=18回 参加者=212人 (東) 講座数=3講座 実施回数=7回 参加者=137人	265
90	子ども対象の人形劇の実施	公民館まつり等において、人形劇やマリオネットの発表会や巡回公民館講座で人形劇の出前を行っています。	中央公民館	17回公演1,301人	30
91	ジュニアリーダー養成事業	小学5・6年生を対象に、各地区子ども会のリーダーを養成していきます。	社会教育課	宿泊研修・ハイキング・防災講習会研修他 全7回 受講者 22人	271
92	ジュニア・スポーツリーダー・スクール	スポーツ・レクリエーションの技術向上だけでなく、セミナーを通していろいろな人とのふれあいの中で人間関係をコーディネート出来る自主性のあるリーダーを養成することを目的に年10回のスクールを開催します。	スポーツ振興課	回数 10回 場所：市内体育施設、岡山県、長野県 参加者数 711人	464
93	中学生の乳幼児ふれあい体験の充実	職業体験学習の中で、保育園や幼稚園での体験学習を実施していきます。	中学校	職業体験学習の中で、保育園や幼稚園での体験学習を1回/年以上実施	予算なし
94	地域教育協議会の推進 (すこやかネット)	8中学校区内で学校・家庭・地域が協働し、青少年健全育成のため取組の充実を図っていきます。	教育指導室 社会教育課	市内8中学校区に「活動・支援」充実事業	1,493
95	青少年指導員への事業委託	青少年の健全育成を図るため、各種事業を委嘱された青少年指導員が実施していきます。	社会教育課	餅つき大会小学校2カ所開催約600名、凧揚げ大会約200名、各小・中学校卒業式への花束贈呈青指出席小中50名	274
96	小6・中3における少人数学級編制や少人数授業	少人数の学級編制に必要な講師を配置し『個に応じたきめ細かな指導』を実現します。	教育指導室	中学校3年生を中心に市費講師8名を配置 小学校6年生で市費講師を2名を配置	44,276
97	小学生育成事業	小学校の放課後や土曜日・長期休みなどの、楽しく安全な居場所として学習、スポーツ、創作、読書、レクリエーション、遠足などさまざまな活動を実施します。	児童館	年 292日開設 参加延人数 7,306人	6,954
98	親子ふれあい事業	主に小学生を対象に各学期事業・年間事業・夏休み事業として講座・講習事業を実施。具体的には「親子体操」、「子どもトランポリン」、「親子水彩画教室」、「たのしい科学教室」、子育て中の保護者を対象にした「子育てサロン」等を実施しています。	児童館	実施回数 121回 参加延人数 1,955人	1,374
99	自主活動支援事業	中学生を対象に、仲間作りを中心としたレクリエーションや学習指導を実施します。	児童館	中学生活動 実施回数 61回 参加延人数 459人	294

新事業 計画No	事業名	具体的施策の展開内容	所 管	平成25年度実績 (実施回数、利用人数等)	平成26年度 予算額(千円)
100	児童館施設の利用促進	子育てサークルに対して、児童館の施設の貸し出しを行うとともに、施設の利用の促進に努めていきます。	児童館	貸し出し人数 4272人	8,342
101	青少年センター施設の利用促進	青少年の良好な学習環境の提供と子育てサークルをはじめ、生涯学習活動の場として青少年センターの施設の利用の促進に努めます。	社会教育課	年間利用人数 延べ15,689人	741
102	幼稚園における世代間交流の推進	敬老会・農作業等における交流を行います。	市立幼稚園	11園×1回 園や地域の実態に応じた老人会との交流を実施	予算なし
103	地域活動事業	保育園で、地域の子どもやお年よりなどを招いての敬老会やクリスマス会を実施。園庭開放や子育て講座、子育て相談を実施していきます。地域の子育て支援については、保育所保育指針にも謳われていることから、すべての保育園で実施しています。	こども未来室	公立保育所 6園 私立保育所 6園 15,304人	2,100
104	市こども会育成連絡協議会活動助成	健やかな子どもの成長と青少年の健全育成や地域の子ども会相互の交流事業を中心とした活動補助金の交付と育成指導を行っていきます。	社会教育課	秋のスポーツ大会・作品展・たこあげ大会・お別れスポーツ大会 他 登録団体 30団体 1,166人	540
105	幼児教室、親子・児童体操教室	就学前の幼児の楽しいトランポリン教室を開催していきます。また、就学前の幼児と親の楽しい運動遊び教室、小学校1年生～3年生までの楽しい体操教室を開催していきます。	スポーツ振興課 (指定管理者)	回数 20回 場所：市民総合体育館 参加者数 (幼児教室：36人、親子体操：59人、児童体操：41人)	指定管理者の予算
106	ライフ・チャレンジ・ザ・ウォーク	「いつでも・どこでも・だれでも」を合言葉に、親子・家族・グループ等にふれあいの場と健康づくりの場を提供し、「気軽に歩くことからはじめよう」と「ライフ・チャレンジ・ザ・ウォーク」を開催していきます。	スポーツ振興課	回数 1回 場所：藤沢台小学校 参加者数 340人	340
107	富田林市民マラソン大会	広く市民のスポーツを普及・振興し、あわせて健康と親睦に寄与する事を目的とし、小学生から壮年・ふれあいまでの13部門に分かれてマラソン大会を開催します。	スポーツ振興課	回数 1回 場所：富田林市役所～富田林小学校 参加者数 440人	210
108	富田林市民スポーツ・レクリエーション祭	見て・知って・楽しむスポーツ・レクリエーションをめざして、幅広い年齢層の市民にスポーツ・レクリエーションの普及を目的として開催していきます。スローガンは「健康みつけた！私のニュースポーツ」です。	スポーツ振興課	回数 1回 場所：市民総合体育館 他 参加者数 607人	230
109	富田林市民体育大会	広く地域住民の間にスポーツ・レクリエーションの振興とスポーツマンシップの高揚を図るとともに、市民相互の健康と民主的な連帯を高めることを目的として20競技を実施していきます。	スポーツ振興課	市内一円 参加者数 4,765人	1,420
110	子育て応援ガイドの作成	子育てに関連する機関などの連絡先及び所在地、利用方法を紹介する等、地域の子育て支援情報の発信に努めます。	こども未来室	平成25年7月に7,000部発行した。	0
111	こども情報紙の発行	子どもに関する身近な情報や催し物などの情報提供を行い、保育所・幼稚園・小学校・中学校すべての子どもへの配布をしていきます。	社会教育課	年9回 15,000部発行 市内家庭数へ配布	1,083

新事業 計画No	事業名	具体的施策の展開内容	所 管	平成25年度実績 (実施回数、利用人数等)	平成26年度 予算額 (千円)
112	広報紙やインターネットによる情報の提供	それぞれの所管が、必要な情報を提供していきます。	関係各課	(スポーツ振興課) 市広報誌への情報提供 年12回 (子育て支援課) 毎月発行 (児童館) 広報掲載回数 12回 児童館情報チラシ (たこやま通信) 3回 インターネット掲載 随時	予算なし
113	とんだばやしメール	発信メニューを拡充し、子育てに関する情報も含め、さまざまな情報を携帯電話やパソコンにメール配信していきます。	関係各課	登録件数 延べ2,662人 内 子育て関係の登録数 延べ1,522人	389
114	出前講座の実施	多様な市民の学習ニーズに即した学習機会の提供をはじめ、行政が行なう各事業に対する市民への理解を深めるための出前講座を実施していきます。現在、子育て講座等54講座あります。 (出前講座は、市役所全課で対応。窓口は社会教育課)	社会教育課	55講座 参加1,684人	予算なし
115	家庭支援推進保育(所)事業	家庭環境に配慮を要する保育所入所児童及びその家庭への支援と合わせ、これまで支援の対象となりにくかった「ひきこもりがちな家庭」などの在宅家庭を対象に、出前の育児相談・親子教室の実施や、家庭訪問など保育所機能を地域に展開することにより、保育所における家庭支援を推進していきます。	こども未来室	1か所	3,800
116	子育て支援保育士事業	民間保育所の地域における子育て支援機能を充実するために要する子育て支援担当保育士等の人件費を補助します。	こども未来室	地域子育て支援センター2園を除く民間保育所(6園)に対して 10,440,000円の補助実績	12,528
117	子ども家庭サポーター活動支援	大阪府子ども家庭サポーターの養成講座を終了した人たちの活動を支援していきます。	こども未来室	継続	予算なし
118	ファミリー・サポート・センター事業	子育ての援助をしてほしい人(依頼会員)と援助したい人(援助会員)が、お互いに助け合う子育てネットワークです。会員数及び活動件数を増やしていきます。	こども未来室	登録人員 335人 利用者数 506人	1326
119	親子広場	民生委員児童委員協議会事業として、親子で一緒にあそび、また親同士の交流を図ることを目的に、活動を継続していきます。	地域福祉課	実施回数 3回 延べ 66組、延べ 138人	予算なし
120	子育てサークルの活動支援事業	子育てサークルの活動に対して参加希望者紹介や備品のお貸出、講習会の案内をすることによりその活動を支援していきます。	こども未来室	7サークル登録 (助成金交付事業は平成23年度で終了)	予算なし
121	未就園児とその保護者に対する支援活動の充実	ふれあい活動の実施、園庭開放の子育て支援、教員による子育て相談等の充実を図ります。	市立幼稚園	月2回程度、子育てアドバイザーによるふれあい活動等を実施。教員による子育て相談も随時実施	600
122	未就園児とその保護者に対する支援活動の充実	子育て支援として、子育て相談等・未就園児親子教室・親子登園等を実施していきます。	私立幼稚園	臨床心理士等の専門職によるカウンセリング、教育相談、未就園児保育、親子教室、園庭開放、講演会等の実施。	予算なし

新事業 計画No	事業名	具体的施策の展開内容	所 管	平成25年度実績 (実施回数、利用人数等)	平成26年度 予算額(千円)
123	「親と子の育ちの場」の提供	親子教室・子育て講演会・教育相談等を実施していきます。	市立幼稚園	親子教室・子育て講演会・教育相談等を随時実施	予算なし
124	日本語指導員の配置	日本語指導者とともに、文化や言語も含め、日本語が十分でない児童の在籍する学校へ指導員を派遣し、学校生活及び保護者の支援を行います。	教育指導室	小学校に5人(中国語・韓国語・ポルトガル語・ベトナム語) 中学校に4人配置(ポルトガル語・中国語)	4,408
125	帰国・渡日児童生徒学校生活サポート事業	地域の国際化の中で、外国からの帰国・渡日児童生徒が増加しているが、言葉の壁、日本の教育制度への無理解から学校生活に支障をきたしたり進路選択が困難であったりする例が見られます。平成20年度に策定した「富田林市多文化共生推進指針」に基づき、これらの問題を解決するために、とんだばやし国際交流協会が教育委員会と協力し、多言語進路ガイダンスを開催。また、とんだばやし国際交流協会では生活相談等を実施します。	市民協働課	多言語進路ガイダンス 2回(児童生徒11人)	465
126	児童手当の給付	家庭における生活の安定に寄与し、児童の健全な育成に資するために中学校修了までの児童を対象に支給します。(所得制限あり)	こども未来室	支給人数 14,038人	1,847,165
127	①就園奨励費の支給 ②富田林市私立幼稚園園児補助金の支給	幼稚園の就園奨励費の支給(所得制限あり)や私立幼稚園園児補助金の支給を行い保護者負担を援助します。	教育指導室	①780人/85,991,761円 (内、104,000円減免) ②〔通年〕546人/16,187,000円	104,176
128	就学援助費の支給	学校に必要な学用品費・給食費・修学旅行費など諸経費の一部を、所得に応じて援助します。(所得制限あり)	教育指導室	認定者数 2,763人	135,278
129	富田林市障害者(児)給付金	障がい児を激励し、その福祉の増進に寄与するため給付金を支給します。	障がい福祉課	者・児合計 重度 2,065人 30,975,000円 中度 2,155人 25,860,000円 軽度 724人 7,240,000円	43,694
130	障害児福祉手当	身体又は精神に著しく重度で永続する障がいがあるため、日常生活において常時特別の介護を要する在宅の20歳未満の人に、障害児福祉手当を支給します。	障がい福祉課	70人	11,571
131	特別児童扶養手当の給付	精神又は身体に障害のある20歳未満で日常生活において常時介護を必要とする児童を家庭で育てている父や母、あるいは父母に代わって児童を育てている人に手当を支給し子育てを支援します。(所得制限あり)	こども未来室	227人(H25.9月末日現在受給者数)	予算なし
132	富田林市重度障害者タクシー料金補助	在宅の重度障がい者(児)に対しタクシー料金の一部を補助します。	障がい福祉課	者・児全体1,207名(内:児童40名) 14,282回 9,247,452円	10,194
133	住宅改造補助事業	在宅の重度障がい者(児)又は在宅の重度知的障がい者(児)に対し住宅改造に係る経費の一部を助成します。	障がい福祉課	3人(内:児童0人)	3,000
134	重度障害児(者)介護手当の支給	重度の身体障がいと重度の知的障がいを併せ持つ在宅の障がい児(者)の介護者に介護手当を支給します。	大阪府 (障がい福祉課)	24人(者・児合計)	大阪府予算

新事業 計画No	事業名	具体的施策の展開内容	所 管	平成25年度実績 (実施回数、利用人数等)	平成26年度 予算額(千円)
135	難病患者に見舞金の支給	難病患者を激励し、その福祉の増進を図るための見舞金を支給します。	障がい福祉課	特定疾患 666名 小児慢性特定疾患 97名 @5,000円	3,225
136	在宅の障がい者に授産施設通所交通費の助成	精神障がい・身体障がい又は知的障がい者通所授産施設に通所している在宅の心身障がい者に対し、保護者の負担を軽減すると共に障がい者の福祉の増進を図るため、その通所に要する交通費の一部を補助します。	障がい福祉課	39人	2,627
137	大阪府心身障害者扶養共済制度	障がい者を扶養している保護者が死亡または重度障がい者となった場合、障がい者に終身一定額の年金を支給し生活の安定を図ります。	大阪府 (障がい福祉課)	42人(者・児合計)	大阪府予算
138	地域で子どもを育てるネットワークの構築	地域教育協議会への参加の推進、地域の幼児教育推進のため、連絡調整機関の設置に向けての準備をしていきます。	市立幼稚園	幼稚園協議会の会合等の開催。必要に応じ随時実施	予算なし
139	市PTA連絡協議会活動助成	単位PTA相互の連携を密にし、その健全な発展を図るとともに、活動補助金の交付と育成指導を行っていきます。	社会教育課	35校園 市PTA大会、理事会2回、役員会7回、母親部会8回	685
140	P T A 教室開催補助	単位PTAの活性化と会員の資質向上を目的に、各幼稚園・小・中学校で実施する「PTA教室」の講師謝礼を補助していきます。	社会教育課	35教室、2,388人	市PTA連絡協議会活動助成に含む
141	富田林市DV対策連絡会議の設置	本会議運営により、本市の担当部課と関係する機関と連携をとり、本市におけるドメスティック・バイオレンス被害者の支援にあたっていきます。	人権政策課	25/6/27 代表者・実務者合同会議 26/3/26 実務者会議	25
142	地域コーディネーター連絡会	各小・中学校区で活動するボランティアとなる地域コーディネーターの連絡調整会議を行います。	社会教育課	地域教育協議会の推進(すこやかネット)に出席 3回 6名	予算なし
143	児童サービス事業 (子育て支援と子ども読書推進事業)	子どもが本に関心をもつことができるよう、保護者や子どもの本に関心のある方を対象にして、図書館文化講座や児童文学講座等を開催しています。	図書館	図書館講演会「探求型教育が始まった～読書が生きる力を育み、図書館が支えます～」1回 23人 図書館講 演会「やってみよう科学あそび」2回 36人 図書館講座「子どもと本の架け橋になろう！～よみかかせとストーリーング」6回138人 図書館講演 会「発達障がいの子もたちとの上手なつきあい方」2回 58人 つくってあそぼう春休みとしょかん手づくり大会 2回 64人 図書館出前講座 8回 参加人数 175人	180
144	市民公益活動団体・地縁団体への支援	市民公益活動センターにおいて、各種活動団体の支援を行っていきます。 団体活動拠点としての利用、印刷等の事務作業、活動していく上での悩みや相談、助成金等の情報提供、プロジェクター等の備品貸出、チラシ・ポスターの掲示などがあります。	市民協働課	利用人数 4,132人 講座開催 12回 講座参加者 163人	5,292

新事業 計画No	事業名	具体的施策の展開内容	所 管	平成25年度実績 (実施回数、利用人数等)	平成26年度 予算額(千円)
145	子育てサロン	地区・校区福祉委員会にて、閉じこもりの防止や参加者相互の仲間づくりを目的とした子育てサロンを実施しており、委員会と実施個所の増設を図ります。	地域福祉課	①市内15福祉委員会で実施(131回) ②延べ参加者数 4,211人	264
146	乳幼児クラブ事業	乳幼児及び保護者に対しサークル形式で多種多様な活動を提供しています。 専門的な知識や経験を持った指導員を配置し、情報交換や子育ての知識を学ぶ場の提供をします。具体的には「親子ふれあい遊び」、「ワークショップ」など、参加者みんなで計画し実施していきます。	児童館	実施回数 177回 参加延人数 5,829人	1,117
147	子育て支援ネットワーク	子育て支援サービスを身近で利用しやすくするため、情報共有などを通じてそれぞれの機関が効果的なサービスを提供できるよう取り組みます。	こども未来室	ネットワーク会議 2回 ブロック会議 16回(4ブロック)	予算なし
148	公園整備事業	「大阪府福祉のまちづくり条例」等に基づき、安全で利用しやすい公園を目指し、遊具等の施設整備を行います。	みどり環境課	「大阪府福祉のまちづくり条例」に該当する整備事業は無舗装工事1か所、門扉設置1か所、ブロック壁改修1か所、擁壁改修1か所、防球フェンス設置2か所、遊具設置1か所	9,672
149	児童遊園新設事業	市民の要望及び遊園用地の使用提供を前提として、市民における配置バランス等にも配慮しながら、遊園の新設に努めます。	みどり環境課	児童遊園新設 2か所	11,400
150	公園管理事業	市民の憩いと潤いの場となる都市公園・児童遊園等の快適な環境を提供するための維持管理(清掃・除草・樹木管理・遊具修理)を実施いたします。	みどり環境課	都市公園管理 60か所 児童遊園等管理 145か所	188,244
151	学校体育施設の開放	地域でのスポーツ振興や文化振興及び地域コミュニティーのため、小中学校のグラウンド及び体育館を学校教育に支障のない範囲で開放しています。	スポーツ振興課	実施数 16校+8校(委員会なし) 参加者 426,962人	124
152	学校体育施設の開放	地域でのスポーツ振興や文化振興及び地域コミュニティーのため、小中学校のグラウンド及び体育館を学校教育に支障のない範囲で開放します。	教育総務課	教育施設の使用件数 (スポーツ目的を除く) ○教室:251件 ○運動場:136件 ○体育館:111件 ○プール:86件/(総計) 584件	22
153	道路のバリアフリー化の推進	富田林市交通等バリアフリー基本構想に伴う道路特定事業計画に基づきバリアフリー化(段差解消、誘導ブロックの設置等)の整備を進めていきます。	道路交通課 (旧駅南地区整備課)	—	予算なし
154	教育施設の整備充実	市内学校(園)の耐震化を進めるとともに、老朽化した施設の改善を図り、教育施設の整備充実に努めます。	教育総務課	○小・中学校の耐震補強設計 (大伴小・彼方小・高辺台小・第一中) ○小・中学校・幼稚園の耐震補強工事 (富田林小・川西小・東条小・第二中・葛城中・青葉丘幼・喜志西幼) ○小・中学校のトイレ改修工事 (新堂小・錦郡小・第一中)	耐震補強工事費: 469,600 トイレ改修工事費: 51,100

新事業 計画No	事業名	具体的施策の展開内容	所 管	平成25年度実績 (実施回数、利用人数等)	平成26年度 予算額(千円)
155	学校園の安全確保(防犯訓練)	各関係機関の協力を得ながら「学校園安全確保の日」を中心とした全 市的防犯訓練を行うとともに、学校園での安全管理体制を常に点検し 子どもの安全確保に努めていきます。	教育指導室	「学校安全確保の日」を設定し、富田林警察をはじめ関係諸機関の 協力を得て市内全学校園で防犯対策を実施する。併せて各校園で定 めている「防犯マニュアル等」を見直し、子どもたちの安全確保を 図る。	予算なし
156	防犯教室	犯罪から身を守るため、地域や学校などで防犯教室を開催します。 ※富田林市防犯委員会の主催事業、市は同委員会へ補助金を交付して いきます。	総務課	36回(1,954人)	900
157	交通安全教室の開催	子どもを交通事故から守るため保育所・幼稚園・小学校にて毎年交通 安全教室を開催します。	道路交通課	保育所 11園 1,064人 幼稚園 9園 706人 小学校 17校 5,418人	予算なし
158	青色回転灯パトロールカー運 行及び補助事業	下校時や帰宅後の児童への犯罪や、交通事故等からの安全を確保する ため、市職員による「青パト」の運行を行います。 平日の毎日、児童の下校時刻に合わせ、各小学校校区毎に運行を行 います。 また、地域で実施される「青パト」の運行に対して助成を行います。	総務課	児童の登下校時の見守りとして、1台のパトロールカーで毎週月・水 曜日の早朝7時30分から1校区の運行と毎週月・水・木曜日の午前10 時から1校区の運行と児童の下校時間に毎日2校区を運行しました。 青色パトロールカーの自主運行の助成については、利用実績はあり ませんでした。(1台につき上限3万円)	60
159	大阪府警による「安まちメー ル」の普及啓発	大阪府警の「安まちメール」が、平成18年から開始され、リアルタイ ムの情報が提供されることにより、地域の見守り活動に活用されるな どの結果が、子どもに対する強制わいせつ事件の減少につながってい ます。このようなことから、「安まちメール」の普及啓発に取り組み ます。	総務課	継続して啓発に取り組んでいます。	予算なし
160	防犯ブザーの配布	市立小学校の児童の通学時の安全対策の一環として防犯ブザーを購入 し、市立小学校の新入生に貸与します。	教育総務課	(小学校)16校 新1年生913人×337円=307,734円	219
161	防犯灯補助事業	犯罪や事故の発生を未然に防止し、安全・安心な街づくりを進めるた め、富田林市防犯灯補助金交付要綱により実施しています。町会等の 管理団体に防犯灯の設置費及び維持管理費の一部を補助しています。 また、いずれの管理団体にも属さない所での防犯灯の設置要望につ いては、新たな管理団体の組織化を促すなど、早期の設置に向けた検 討を行っていきます。	市民協働課	防犯灯新設補助 29灯 543,613円 ポール設置補助 8本 173,845円 電気代補助 10,626灯 24,381,700円 器具取替補助 771灯 9,599,362円	36,647
162	防犯カメラ整備補助事業	地域の防犯対策として、町会等が防犯カメラを整備する際に、富田林 市防犯カメラ設置費補助金交付要綱により補助金を交付しています。	市民協働課	3町会、計8台に対して補助金を交付した	5,000